

科目名		授業形態	担当教員名	
情報統計学		講義	上田 博司	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
個人および集団の歯・口腔の健康と予防プログラムを構築するために、関連する保健情報を把握し、衛生統計の手法を習得することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 口腔内からの保健情報の収集方法を説明できる。 2. 歯科疾患の指標について説明できる。 3. 保健情報の分析について説明できる。 4. 情報の保護と倫理について理解できる。				
授業計画				
回	内容			
1	本科目の目的と概要 保健情報と保健統計（1章-1）：保健情報・保健統計とは、保健情報の種類			
2	保健情報と保健統計（1章-2）：保健情報の種類（EBMの手順）、国家統計調査			
3	保健情報と疫学（2章-1）：疫学とは、健康障害の発生要因			
4	保健情報と疫学（2章-2）：疫学の方法論、スクリーニング（疾病と検査との関係）			
5	歯科疾患の指数（3章-1）：数量化と指数について、指数（う蝕）			
6	歯科疾患の指数（3章-2）：指数（歯周疾患、口腔清掃状態）			
7	歯科疾患の指数（3章-3）：指数（不正咬合と歯列不正の指数、歯のフッ素症、その他の歯科保健指標）			
8	保健情報の分析手順（4章-1）：保健情報の収集、調査			
9	保健情報の分析手順（4章-2）：母集団と標本抽出			
10	保健統計の方法（5章-1）：データの特性、記述統計（代表値、散布度、相関）、推定と信頼区間			
11	保健統計の方法（5章-2）：検定、保健情報の多変量解析、その他			
12	保健情報の分析演習（6章-1）：解析と検定の演習			
13	保健情報の分析演習（6章-2）：プレゼンテーション：データの表現			
14	情報の保護と倫理（7章）：情報社会の特性と問題点、情報の開示、個人情報の保護、インターネットと情報倫理			
15	情報統計学（まとめ）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	40%	保健分野における情報統計を理解し、歯科指数の取得、統計やプレゼンテーションが適切に行える。		
レポート・課題	10%	各章終了時に学習到達目標を達成しているか自己判断を行う。		
小テスト	35%	各章の終了時にその内容の理解度を確認する（全7回）。		
平常点	15%	受講態度、授業内の演習等への積極的な取り組みを評価する。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み3 保健情報統計学	全国歯科衛生士教育協議会		医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				